



第 49 回 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

学会創立 50 周年にあたる 2024 年度全国大会の開催日と開催場所の予定が決まりました。

開催日（予定）： 2024 年 8 月 28 日（水）～ 8 月 30 日（金）

開催場所（予定）： 明海大学（浦安キャンパス）

<https://www.meikai.ac.jp/>

是非ご参加をご検討ください。大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。

■ 会場外観



■ アクセス

<https://www.meikai.ac.jp/access/>



2023 年度 第 5 回研究会 開催案内

担当者：鷹野 孝典，佐々木 整，三石 大，高木 正則，光原 弘幸

■ テーマ：

教育 DX と実世界指向学習環境／一般

■ 開催日時：

2024 年 1 月 20 日（土）

■ 開催場所：

拓殖大学 文京キャンパス（対面のみの実施）

<https://www.takushoku-u.ac.jp/access.html>

■ 趣旨：

本年度第 5 回研究会は「教育 DX と実世界指向学習環境／一般」のテーマで実施いたします。携帯情報端末や高速無線通信，存在感を有して知的に振る舞うロボット，身の回りの様々なモノをコンピューティングの対象とする IoT，実世界と仮想世界を融合した学習環境を提供する MR/VR/AR など，新しい教育学習環境を切り拓く技術が次々と社会に浸透しており，このような新技術は教育学習環境を大きく変えようとしています。

また，世界的なコロナ禍の影響で，教育学習環境のオンライン化が一気に加速し，教育現場における DX への関心が急速に高まっています。このような学び方や教え方のパラダイムシフトの必要性や可能性を実感する一方で，実際にその場に訪れ，人やモノと接することでしか得られない学びを提供する実世界指向の教育学習環境の重要性も指摘されています。

こうした教育学習環境の急速な変化を踏まえ，第 5 回研究会では「教育 DX と実世界指向学習環境」について，そのための教授設計も含め，システム・基礎技術の開発，実践，ならびに，新しい教育・学習手法に関する研究発表を募集し，共に考える議論の場としたいと考えています。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■ 発表時間等：

発表時間は 25 分（発表 17 分，質疑 7 分，入れ替え 1 分）です。

■ 発表申込および研究会への参加方法：

研究発表および研究会参加には、研究報告の年間購読（4,000 円/年）または各回の研究報告の購入（1,000 円/回）が必要となります。ただし、聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。

○ 発表者

発表申込および原稿提出は、下記「申込者ログイン」よりお願いします。また、事前参加申込（研究報告の購入）は 2023 年 12 月 15 日（金）9 時に開始します。開始時刻以降に、下記「申込者ログイン」から手続きしてください。

○ 聴講のみを希望する学生会員

聴講のみを希望する学生会員は、「申込者ログイン」での手続きは行わず、下記の問い合わせ先まで直接メールでご連絡ください。

○ 上記以外の参加者

事前参加申込（研究報告の購入）は 2023 年 12 月 15 日（金）9 時に開始します。開始時刻以降に、下記「申込者ログイン」から手続きしてください。

クレジットカード払いであれば当日まで事前参加申込が可能です。それ以外の支払い方法は 2024 年 1 月 13 日まで選ぶことができますが、支払期間内に入金しないと参加申込が確定となりません。支払期間は完了通知メールに記載されますので、必ずご確認をお願いいたします。

現地受付での参加申込はできません。参加を予定している方は必ず事前参加申込を行ってください。クレジットカード払いの場合は、当日でも事前参加申し込みが可能です。

申込者ログイン： <https://iap-jp.org/jsise/course2/login.php>

■ お問い合わせ先：

神奈川工科大学 鷹野 孝典（第 5 回研究会担当委員）

E-mail: jsise-sig-5th[at]googlegroups.com（[at]の部分を半角の「@」に変更してください）



2023 年度 第 6 回研究会 講演募集

担当者： 浅羽修丈（北九州市立大学）、尾崎拓郎（大阪教育大学）、鷹岡亮（山口大学）
永田奈央美（静岡産業大学）、西端律子（畿央大学）、長谷川理（武蔵野大学）、
林雄介（広島大学）、三井一希（山梨大学）、森祥寛（金沢大学）山本樹（明海大学）

■ テーマ：

実社会や他校種との接続を意識したデータサイエンス教育／一般

■ 開催日時：

2024 年 3 月 10 日（日）

■ 開催場所：

山口大学 吉田キャンパス

https://www.yamaguchi-u.ac.jp/info/campus_map/access_yoshida_campus/index.html

※本研究会は対面のみの実施です。

■ 趣旨：

本年度第 6 回研究会は「実社会や他校種との接続を意識したデータサイエンス教育／一般」のテーマで実施いたします。

日本が実現を目指す Society 5.0 の社会では、社会全体で持続的に新たな価値を生み出すことが求められており、ひとりひとりが Society 5.0 の担い手として活躍できるように、初等中等教育の各段階から新たな価値創造をするための能力の育成が求められています。これは、内閣府が提示している「AI 戦略 2019」においても、デジタル社会の基礎知識（いわゆる「読み・書き・そろばん」的な素養）である「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能、新たな社会の在り方や製品・サービスをデザインするために必要な基礎力など、持続可能な社会の創り手として必要な力を全ての国民が育み、社会のあらゆる分野で人材が活躍することを目指し、2025 年までに教育に各教育機関での教育目標が掲げられています。現行の学習指導要領においても、データサイエンス・AI の基礎となる数理分野での学習内容の充実が図られており、各学校種間での当該分野における連携の充実も求められているところです。

これらのことから、新たな価値創造をする人材育成のための「データサイエンス教育」について参加者の皆さんと考えていきたいと思います。

なお、本テーマに関わらず幅広く一般の研究発表につきましても併せて募集しますので、多くの皆様からのご発表のお申込みをお待ちしております。

■ 発表申込締切：

2024 年 1 月 18 日（木）【延長いたしません】

■ 原稿提出締切：

2024 年 2 月 8 日（木）【延長いたしません】

■ 発表時間等：

発表時間は 25 分（発表 17 分，質疑 7 分，入れ替え 1 分）を予定しております。

■ 発表申込および研究会への参加方法：

研究発表および研究会参加には，研究報告の年間購読（4,000 円／年）または各回の研究報告の購入（1,000 円／回）が必要となります。ただし，聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。

○発表者

発表申込および原稿提出は，下記「申込者ログイン」よりお願いします。

また，事前参加申込（研究報告の購入）は 2024 年 2 月 9 日 9 時に開始します。

開始時刻以降に，下記「申込者ログイン」から手続きしてください。

○聴講のみを希望する学生会員

聴講のみを希望する学生会員は，「申込者ログイン」での手続きは行わず，末尾の問い合わせ先まで直接メールでご連絡ください。

○上記以外の参加者

事前参加申込（研究報告の購入）は 2024 年 2 月 9 日 9 時に開始します。

開始時刻以降に，下記「申込者ログイン」から手続きしてください。

クレジットカード払いであれば当日まで事前参加申込が可能です。それ以外の支払い方法は 2024 年 3 月 2 日まで選ぶことができますが，支払期間内に入金しないと参加申込が確定となりません。支払期間は完了通知メールに記載されますので，必ずご確認をお願いいたします。

申込者ログイン：<https://iap-jp.org/jsise/course3/login.php>

※研究会申込システムの利用方法はこちら

講演申込・原稿投稿方法 <https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

○現地での参加申込

現地受付での参加申込はできません。参加を予定している方は必ず事前参加申込を行ってください。クレジットカード払いの場合は，当日でも事前参加申し込みが可能です。

■ 研究報告執筆フォーマット：

原稿の執筆・投稿にあたっては, 以下のページをご確認ください.

- ・ 研究報告執筆要領: <https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/format.pdf>
- ・ 研究報告見本: <https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/sample.pdf>
- ・ 研究報告ひな形: <https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/sample.docx>
- ・ 講演申込・原稿投稿方法: <https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■ お問い合わせ先：

山口大学 鷹岡 亮（第6回研究会担当委員）

E-mail：kenkyuu-6th-ml[at]jsise.org（[at]の部分を半角の「@」に変えて下さい.）



2023 年度 特集論文研究会 講演募集

担当者： 学会誌編集委員会委員長 松浦 健二（徳島大学）

■ テーマ：

エビデンスに基づいた学習者中心の教育・学習支援

■ 開催日時：

2024 年 3 月 9 日（土）

■ 会場：

オンライン開催

■ 趣旨：

2020 年 3 月から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの教育機関で遠隔・オンライン教育が実施されました。同時に、学習管理システム（LMS）や e ポートフォリオの利用が進み、講義資料の閲覧履歴や小テストの解答履歴、レポート等の成果物に加え、講義中の映像や発話情報などのマルチモーダルな教育・学習データも蓄積されるようになりました。また、近年では、学習中の生体情報も比較的容易に取得できるようになり、これらの多種多様かつ膨大な教育・学習データを LRS (Learning Record Store) で一元管理し、学習者のために活用しようとする機運が高まっています。そこで、本特集号では、教育や学習の過程で収集されたデータを利用した学習者中心の教育・学習の支援に関する先進的な取り組みに関する論文を広く募集します。

■ 発表申込締切：

2024 年 1 月 18 日（木）

■ 原稿提出締切：

2024 年 2 月 8 日（木）

■ お問い合わせ先：

近畿大学 山元 翔（特集論文研究会担当委員）

E-mail：yamamoto [at] info.kindai.ac.jp（[at]の部分を半角の「@」に変えて下さい。）

担当者が変更となりましたのでご注意ください



「博士論文紹介」の原稿募集について

担当者： 学会誌編集委員会委員長 松浦 健二（徳島大学）

学会誌のコミュニティプラザ「博士論文紹介」は2021年より、各巻のNo. 3（7月1日発行）に集約をし、博士論文の紹介を総覧できる形式へ移行しました。複数の博士号取得者を一同に紹介することで「博士号取得者の研究テーマの動向を読者の皆様が一目で把握できる」「博士取得者同士が互いを知る機会として、交流を深めるきっかけとなる」などのメリットがうまれることを期待しております。

年1回に集約したことにより、寄稿依頼を年度末前後の3～4月頃とし、本誌や学会のニューズレターなどを通じて、募集を行って参ります。お近くに博士号取得者や、今後学会誌掲載時に博士号取得予定者がいらっしゃいましたら、ご本人または、指導教員の立場によらず、以下の教育システム情報学会誌編集委員会担当委員のメールアドレスまで、お気軽に情報提供いただけますと幸いです。

2024年7月1日発行予定となります学会誌Vol. 41, No. 3につきましては、【2024年4月19日(金)】を原稿締切の予定とし、募集を行ってまいります。

執筆に際しては、博士論文紹介原稿用の執筆要領&原稿テンプレートをご利用ください。原稿および必要事項の提出に関してはGoogleフォームを用いて行うようにいたします。下記URLよりご利用ください。

スケジュール

原稿締切： 2024年4月19日(金)（予定）

学会誌掲載： 学会誌Vol. 41, No. 3, 2024年7月1日発行（予定）

執筆要領および原稿提出

執筆要領&原稿テンプレート：

<https://docs.google.com/uc?export=download&id=1ZQLwCvdBb0RF7YCtXiBLk3rinKqe7Qsc>

原稿提出（Googleフォーム）：

<https://forms.gle/s6apsfhbxetLsvRJ9>

問い合わせ等

問い合わせ先： 教育システム情報学会誌編集委員会 担当委員 林 佑樹（大阪公立大学）

E-mail: hayapy@omu.ac.jp

（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）



2025 年度発刊 特集号論文募集

担当者： 学会誌編集委員会委員長 松浦 健二（徳島大学）

エビデンスに基づいた学習者中心の教育・学習支援

論文投稿締切：2024 年 6 月 1 日（土）（予定）

2025 年 4 月 1 日 発行（予定）

2020 年 3 月から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの教育機関で遠隔・オンライン教育が実施されました。同時に、学習管理システム（LMS）や e ポートフォリオの利用が進み、講義資料の閲覧履歴や小テストの解答履歴、レポート等の成果物に加え、講義中の映像や発話情報などのマルチモーダルな教育・学習データも蓄積されるようになりました。また、近年では、学習中の生体情報も比較的容易に取得できるようになり、これらの多種多様かつ膨大な教育・学習データを LRS (Learning Record Store) で一元管理し、学習者のために活用しようとする機運が高まっています。そこで、本特集号では、教育や学習の過程で収集されたデータを利用した学習者中心の教育・学習の支援に関する先進的な取り組みに関する論文を広く募集します。

1. 対象分野

学習記録データ等の収集、蓄積、分析、可視化に関する技術、学習記録データ等の分析結果に基づいた教育・学習の実践に関する研究、生体情報を教育・学習支援に応用した研究等を広く募集します。

2. 論文種別

すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集いたします。なお、査読を通して、異なる種別での採録となる場合があります。また、内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。投稿に際しては「特集号」であることを明示していただきます。また、特集論文研究会（2024 年 3 月中旬開催予定）で発表を行った方は、特集論文研究会での発表題目と発表番号も明示いただく予定としております。

4. スケジュール

論文投稿締切： 2024年6月1日(土) 【予定】
採録通知予定： 2024年12月初旬まで 【予定】
学会誌 掲載： 学会誌Vol. 42, No. 2, 2025年4月1日発行 【予定】

本特集号と同一テーマの研究会「特集論文研究会」を開催します。是非、ご発表・ご参加ください。
詳細は、今後の最新の開催案内(<https://www.jsise.org/society/committee.html>)をご覧ください。

5. 特集号編集委員会

委員長： 松浦 健二(徳島大学)
副委員長： 後藤田 中(香川大学)
筆頭幹事： 高木 正則(電気通信大学)
幹 事： 近藤 伸彦(東京都立大学)， 山元 翔(近畿大学)，
林 佑樹(大阪公立大学)， 山崎 治(千葉工業大学)
幹事補佐： 太田 光一(北陸先端科学技術大学院大学)，
吉原 和明(近畿大学)
委 員： 学会誌編集委員

6. 問い合わせ

全 般： 山元 翔(近畿大学) E-mail : yamamoto [at] info.kindai.ac.jp
([at]の部分の半角の「@」に変えて下さい。)
担当者が変更となりましたのでご注意ください



Information and Technology in Education and Learning (ITEL)

論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

日本教育工学会（JSET）との合同英文誌 ITEL（Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>）への掲載原稿を募集しています。この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。ITEL は、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itel/list/-char/ja>)。投稿後、原則、7 か月以内に 2 回の査読が終了するように配慮しています。短期間で、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです。学位取得を目指されている方や留学生のみなさんからのご投稿もお待ちしております。

- 論文種別： 一般論文（Regular Paper, 基本 8 ページ）, 実践論文（Practice Paper, 基本 8 ページ）, システム開発論文（Development Paper, 基本 8 ページ）, ショート論文（Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで）
＜これまでのショートノート（Short Note）と実践速報（Report on Practice）を含みます＞
- 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。
- 投稿要件：
 - ・論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
 - ・投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。
- 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領（Author Guidelines）等がアップされています。
- 投稿方法：＜ [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ ＞
 - ・ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
 - ・初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
 - ・投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
 - ・投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正（Proofreading）を受け、証明書提出を推奨しています。
- 査読方法：
 - ・投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
 - ・査読者は 2 名で、査読回数は 2 回となります（著者照会は 1 回のみ）。
 - ・評価項目は、Originality（新規性）、Usefulness（有用性）、Reliability（信頼性）、Presentation（明瞭性）の 4 項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
 - ・投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。



2023 年度 第 3 回研究会 開催報告

担当者：担当者： 小西 達裕（静岡大）、安間文彦（サイバー大）、三好康夫（高知大）

■ テーマ：

先進的演習・実習支援環境／一般

■ 開催日時：

2023 年 9 月 30 日（土） 9:30 ～ 18:10

■ 開催場所：

静岡大学浜松キャンパス 共通講義棟 1F 共 1 1 室 （静岡県浜松市）

■ 発表件数・参加者：

発表 16 件、参加者 32 名

■ 概要：

本年度第 3 回研究会は 9 月 30 日に静岡大学浜松キャンパス（静岡県浜松市）にて対面開催されました。昨年度までの第 3 回研究会はコロナウィルス流行のためにオンライン開催が続いていましたが、今回は久々の対面開催となりました。例年この時期の研究会は大会のすぐ後ということもあってあまり発表件数が伸びない傾向があったのですが、本年度は 16 件と十分な数のご発表をいただき、来場者も 30 名を越え、おかげ様で大変活気ある研究会となりました。発表内容としては先進的演習・実習支援のテーマに関係して、コロナ期の経験を踏まえたオンライン環境での演習・実習の工夫に加え、これを対面授業でも活用する方法に関する検討、生成 AI の活用に関する検討、学生間のコミュニケーションを支援促進する環境についての検討など、現在そして未来に重要となる技術や実践について幅広く議論することができました。研究会のプログラムなどの詳細は以下をご参照ください。

https://www.jsise.org/research_society/2023_cfp_3rd/

今回は対面開催ということで懇親会の開催も視野に入れましたが、事前調査で参加希望の方が少なかったことから見送らせていただきました。来年度以降、対面での交流がさらに盛んになりましたらこのような催しも再度企画させていただきます。研究発表・聴講も含めまして、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■ 発表タイトル：

- ホームセキュリティの現状と展望
- SME（認定看護師）の研修設計への省察的実践と 9 教授事象による評価

- 作業療法学生を対象とした精神障害領域臨床実習自己効力感尺度作成の試み
- NFC を活用した定量的な時間管理支援システムの提案
- 対面授業下でのオンライン匿名チャットによる授業内質問の継続的分析
- 習慣化支援システムにおける試行錯誤を支援するための推薦機能の提案とシミュレーション環境の構築
- 自助・共助の意識向上のための1人で実施する防災教育を支援するシステムの提案
- 授業動画分析・可視化システムを活用した教員養成授業の設計と実践
- ゲーミフィケーションに基づくユーザタイプ分類を用いた子どもの職業体験機会を創出する地域活動支援システム
- プログラミング学習における基礎的概念理解を評価対象とする相互評価と評価後の修正が与える影響の調査
- プログラミング演習における学習状況把握のためのペア学習の会話調査
- 外国語 speaking 練習に音声認識を取り入れることに関する予備調査
- 学生の目指す職域で活躍するエキスパートを演じる生成 AI アバターと共生した協働学修の実践と検証
- 生成型 AI によるスクリプトと発話を用いた日本語発話学習授業の実践実例
- 小学校の教員・児童に対する端末の利用の支援と調査
- 大学生用メタ認知尺度 MAI と文章産出方略との関連



2023 年度 第 4 回研究会 開催報告

担当者：小尻智子，柏原昭博，曾我真人，長谷川忍，松浦健二

■ テーマ：

多様なスキルの開発を支える学習デザインとその支援技術／一般

■ 開催日時：

2023 年 11 月 12 日(日)

■ 開催場所：

香川大学 情報メディアセンター 1F コモンズスペース

■ 発表件数・参加者：9 件・34 名

■ 概要：

2023 年度第 4 回研究会は、11 月 12 日(日)に「多様なスキルの開発を支える学習デザインとその支援技術／一般」というテーマで、香川大学にて開催されました。参加者は 34 名と多くの方にお集まりいただきました。前日には同じく香川大学で電子情報通信学会の教育研究会が実施されたこともあり、両方の研究会に参加された方も多くいらっしゃったようです。

本会は第 4 回の研究会では久しぶりの現地参加のみでの開催となりました。コモンズのスペースにテーブル付きの椅子を放射状に配置していただいた会場は、「研究会」というよりは「研究グループのミーティング」のような雰囲気、居心地がよく、リラックスできる空間でした。このような空間の雰囲気もあり、活発な意見交換がなされました。香川大学の先生方にはこのような素晴らしい会場をご準備いただき、感謝申し上げます。

さて、研究会の内容ですが、テーマであるスキルに焦点をあてた研究に加えて、一般テーマの発表が多く集まりました。先駆的な技術の適用に焦点をあてた研究、長期にわたる授業実践の報告、教材の開発、学習対象の意味解釈まで多様な研究が集まり、JSiSE の研究対象の広さを実感した会となりました。これらの研究に対する議論をとおして、ある知識やスキルの獲得には、対象とする知識やスキルだけではなく、知識を説明する概念や、それらの概念を理解・適用するためのスキルなど、より基礎的な知識やスキルの獲得が必要であることを改めて実感するとともに、学校教育の中で、また学習・教育支援システムとして、何をどこまで支援すべきかということを考えさせられました。

このような教育・学習支援の本質を考えることのできる議論を今後も継続していければと思っています。

■ 発表タイトル：

- 学術論文を入力とする観点を反映した要約生成システムの構築
- 言語活動を取り入れた授業における形態素解析を用いた「指導と評価の一体化」への試み
高等学校「物理基礎」の知識習得の授業を例として
- 算数文章題乗除の統合的解釈と学習課題化
- 自動車修理業における指導の実態調査と指導者支援システムの提案
- 肢体不自由者のための自立活動支援アプリケーション-ユーザーサポート機能の拡充
- 錯視画像作成教材 VisioCraft の開発
- 物理現象を題材としたバーチャル遊び場創りによるプログラミング教育の実践
- プログラミング的思考力を育むための小学校プログラミング授業支援-児童の主体的な学びを目指した授業教材の改良-
- 小学校向け安全マップ活動支援システム -ユーザビリティ向上のための機能改良



2023 年度研究会開催スケジュール

S

2023 年度の年間スケジュールは下記の通りです。

詳細は、学会ウェブページ (https://www.jsise.org/society_research/) をご覧ください。

回	テーマ	開催日	会場	申込締切	原稿締切
第 1 回	DX 時代に向けた学習環境 の变革・リスクリテラシー／ ヘルスケア分野の DX 人材 育成／一般	終了	早稲田大学 早稲 田キャンパス（現 地、またはハイブ リッド）	終了	終了
第 2 回	ICT を活用した学習支援 と教育の質保証／一般	終了	北星学園大学	終了	終了
第 3 回	先進的演習・実習支援環 境／一般	9 月 30 日（土）	静岡大学 浜松キ ャンパス	終了	終了
第 4 回	多様なスキルの開発を支 える学習デザインとその 支援技術／一般	11 月 12 日（日）	香川大学	終了	終了
第 5 回	教育 DX と実世界指向学習 環境／一般	2024 年 1 月 20 日 （土）	拓殖大学 文京キ ャンパス	終了	2023 年 12 月 14 日（木）
第 6 回	実社会や他校種との接続 を意識したデータサイエ ンス教育／一般	2024 年 3 月 10 日 （日）	山口大学 吉田キ ャンパス	2024 年 1 月 18 日（木）	2024 年 2 月 8 日（木）
特集	エビデンスに基づいた学 習者中心の教育・学習支 援	2024 年 3 月 9 日（土）	オンライン	2024 年 1 月 18 日（木）	2024 年 2 月 8 日（木）

研究会全般に関するお問い合わせは、学会事務局までお願いいたします。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000 円（定例研究会年 6 回，特集研究会 1 回，計 7 回分を含む）
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局（secretariat@jsise.org）まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望

会員番号（お分かりであれば）：

お名前：

所属：

連絡先 e メールアドレス：

=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

関東支部より活動報告



第5回リサーチ・コ・コ・コモンズ開催報告

担当者： 教育システム情報学会関東支部

関東支部では、連携（collaboration）による新たな学びの共創（co-creation）を実現するためのイベント「リサーチ・コ・コ・コモンズ」を、11月18日（土）に電気通信大学の皆様のご協力のもとでハイブリッド教室（後述いたします）を用いて、対面とZoom上のハイブリッドで開催致しました。第5回となる今回も前回に引き続き、学生を対象に「自身の研究の魅力を再発見すること」をテーマとして開催し、関東地区から21名（学生12名・教員9名／対面17名・オンライン4名）の参加がありました。

冒頭に、関東副支部長の放送大学・辻靖彦先生より趣旨説明があり、その後、二部構成で実施しました。第1部「ベテラン研究者からのメッセージ」では、基調講演として、電気通信大学の渡辺博芳先生が、電気通信大学のVRキャンパスにアバターを用いて登場し、アバターのジェスチャーを巧みに用いながら、新たな技術についての説明がなされました。また、教育へのICT浸透や高等学校で情報1の必修修化などによる変革の時期にある今、教育システム情報学研究は「熱い」分野で、どの進路でも今の研究の経験は活きるというメッセージをいただきました。



続いて電気通信大学柏原研究室博士課程の島崎俊介さんより、ハイブリッド教室のロボット及び数々の設備の紹介がなされ、さらに実際にロボットを遠隔操作するインストラクションが行われました。

電気通信大学のハイブリッド教室は、テレプレゼンスロボット：TemiV3, Kubi, Telepii が導入された教室であり、オンライン（Zoom）参加の学生が講義室に存在するロボットを介して、対面の空間に存在する

ようにインタラクションが行えるようになっていきます(図1). オンラインの参加者は、ロボットを介して、対面参加のように自らの分身であるロボットを移動させ、会議に参加しておりました。

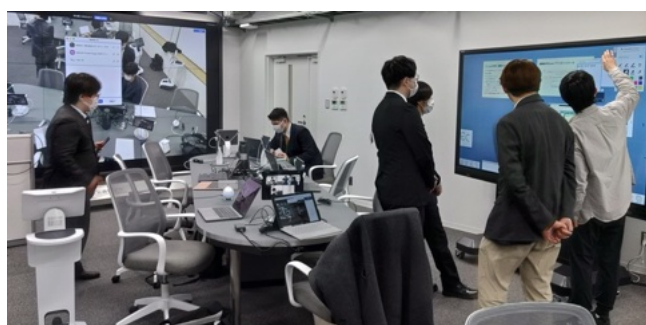


テレプレゼンスロボット : Temi V3、 Kubi、 Telepii

※電気通信大学 UEC 共創進化スマート教育システム <https://www.eizo-system.co.jp/media/case/education/uec> より

第2部では「魅力 Aware / Share / Deeper セッション」と題して、参加学生による3セッション合計11件の研究紹介が行われ、それぞれの研究の良い点、発表者本人も気付かないと思われる発展や応用の方向性について、積極的な議論がなされました。通常の研究会とは異なる「褒めて(研究を)伸ばす」、「褒めて(自分自身が)伸びる」というコンセプトの下での議論に、参加者一同が苦戦しつつも、ポジティブな雰囲気の中セッションが進行しました。

また、各セッションの間の休憩時間では、オンラインの参加者が自分の興味のある議論をしている場所までロボットで移動し、議論の様子を観察している様子も見られました。これは、通常のオンライン参加では生じ得ない本教室ならではの光景と言えます。



第2部「魅力 Aware / Share / Deeper セッション」の様子

今回、ご講演・ご発表いただきました皆さま、及びご参加いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。今後も関東支部では、学生の育成および教育実践の現場との連携を視野に入れた学術イベントの企画実施を進めていきたいと考えております。

◇第1部：ベテラン研究者からのメッセージ

- ・基調講演：渡辺 博芳 先生（電気通信大学）

◇第2部：魅力 Aware / Share / Deeper セッション

- ・ 誤りの可視化システムに対する発話プロトコル分析を用いた分析方法の提案と分析結果の報告
中村祐希人(千葉工業大学大学院 東本研究室)
- ・ プログラミング課題の文章問題を対象とした問題解決過程の提案と学習支援システムの開発
白髭虹輝(千葉工業大学大学院 東本研究室)
- ・ 文章生成 AI を用いた Web 調べ学習の可能性と方法の検討
渡邊 優(電気通信大学 柏原研究室)
- ・ 自動生成された課題を用いたプログラムトレース学習の実現可能性に関する調査
茂木誠拓(千葉工業大学大学院 東本研究室)
- ・ 対話型生成系 AI との対話を通じた作問学習支援システムに関する研究
小林久也(電気通信大学 高木研究室)
- ・ ハイブリッド講義における密なコミュニケーションの実現
有賀弘晃(電気通信大学 柏原研究室)
- ・ EBS(Error-based Simulation)における適切なメタファを提示するシステムの検討
PIERRET ROBLES JEAN PAU(千葉工業大学 東本研究室)
- ・ より良い他者のコードからの学びを促すコード共有プラットフォーム
前田新太郎(千葉工業大学大学院 東本研究室)
- ・ 学習方略への固執を緩和する共感シナリオデザイン
佐々木奏(電気通信大学 柏原研究室)
- ・ 中学数学における関数を題材とした学習支援システムの開発・評価
内山裕太(千葉工業大学 東本研究室)
- ・ 課題分析図を利用した数学学習における個別最適な問題選択支援システムに関する研究
多田みるり(電気通信大学 高木研究室)

関西支部より活動報告

担当者：教育システム情報学会 関西支部

2023年11月18日（土）に、8団体の共催で第19回情報教育合同研究会を園田学園女子大学にて開催しました。84名のご参加をいただきありがとうございました。

1. テーマ 生成 AI と情報活用能力 ～AI の登場で情報活用能力は新たなステージに～
2. 日 時 令和 5 (2023) 年 11 月 18 日 (土) 10:00～17:10
3. 会 場 園田学園女子大学 樺和館（けやきな）（4号館）・情報教育センター（5号館）
4. 共 催 情報コミュニケーション学会情報教育特別委員会 教育システム情報学会関西支部
日本情報科教育学会近畿・北陸支部 兵庫県高等学校教育研究会情報部会
大阪府高等学校情報教育研究会 情報教育学研究会(IEC) 氷上情報教育研究会 Logo に学ぶ会 Neo
5. 後 援 兵庫県教育委員会 尼崎市教育委員会 園田学園女子大学
6. 日 程

受付① 9:40～10:20 情報教育センター（5号館 4階）

【ワークショップ】（複数セッション同時開催） 10:00～12:00

- (1) Google Colab と Chat GPT を用いたデータ分析入門
運営 後藤 晶（明治大学・情報コミュニケーション学会）
- (2) 簡単小型コンピュータで AI もできるよ！
運営 鹿野利春（京都精華大学・日本情報科教育学会）

【自由企画】（複数セッション同時開催） 10:00～12:00

- (1) なるべく情報通信ネットワーク！楽しい授業を目指して
運営 太田正哉・稲川孝司（大阪公立大学大学院）
- (2) micro:bit でペンライトを光らせよう
運営 稲川孝司（大阪公立大学・日本情報科教育学会近畿北陸支部）

受付② 12:20～ 樺和館（けやきな）（4号館）1階

【全体会】 13:00～

<レクチャー> 「AI とどのように付き合うのか」 13:10～14:50

- (1) 生成系 AI のしくみ
小田桐 良一（園田学園女子大学）
- (2) 生成 AI の学校現場での取扱いに関する今後の対応について
西端 律子（畿央大学・中央教育審議会デジタル学習基盤特別委員会委員）
- (3) 学校で AI 活用を始めました ～教員、生徒それぞれの課題～
三木 康史（兵庫県立尼崎稲園高等学校）
- (4) 生成 AI は子供達の創造性を伸ばすのか？
永谷 研一（株式会社ネットマン代表取締役社長・長崎大学非常勤講師）

<企業展示コラボレーション・コミュニケーションタイム> 14:50～15:20

<マイプラン> 「このような授業はどうですか」 15:20～15:40

- (1) 画像生成 AI を利用した情報デザインの授業展開

白井 美弥子 (兵庫県立伊丹北高等学校・兵庫県高等学校教育研究会情報部会)

- (2) ChatGPT を活用した要約指導

西尾 鮎子 (尼崎市立清和小学校)

<ショートメッセージ> 「私は AI をこのようにおすすめします」 15:45～16:25

- (1) AI の功罪を考える-AI がある社会は天国か地獄か

後藤 晶 (明治大学)

- (2) プログラミング × AI ×ロボット -ロボットの頭脳を生成 AI に任せてみたら

高見澤 秀幸 (秀明大学)

- (3) 生成系 AI を利用した就職支援の可能性

尾崎 誠 (園田学園女子大学)

- (4) ChatGPT との哲学的対話は可能か?

寺尾 敦 (青山学院大学)

<ディスカッション> 「生成 AI と情報活用能力」 16:30～17:00

司会 佐藤 万寿美 (同志社女子大学)

閉会行事 17:00～17:10

広報からのお知らせ



Web サイトがリニューアルされました

2023 年 1 月 23 日に、JSiSE の Web サイトがリニューアルされました。従来よりも見やすく、操作も分かりやすくなっています。新しくなった Web サイトをぜひご覧ください。

また、何かお気づきの点があれば、遠慮なく学会事務局までお問い合わせください。



X (Twitter) アカウントの紹介

2016 年 8 月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 X (Twitter) アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局 (secretariat@jsise.org) へお願いします。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2023 年 12 月 7 日現在、フォロワー数 271 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会の公式 Facebook ページを運用しています。本ページでは、論文・発表募集や本学会に関連するイベントの情報などをお届けしています。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2023 年 12 月 7 日現在、いいね 581 件、630 人フォロー

X (Twitter)、Facebook への情報掲載の依頼などは学会事務局 (secretariat@jsise.org) までお問い合わせください。



国際会議のご案内

- 2024 年 1 月開催

The 22nd Annual Hawaii International Conference on Education

開催期間 : January 3-6, 2024

開催地 : Waikoloa, Hawaii

URL: <https://hiceducation.org>

投稿締切 : August 7, 2023

- 2024 年 3 月開催

ICIET 2024 (12th International Conference on Information and Education Technology)

開催期間 : March 18-20, 2024

開催地 : Shimonoseki, Yamaguchi

URL: <http://www.iciet.org/>

投稿締切: October 20, 2023

LAK 2024 (The 14th International Learning Analytics and Knowledge Conference)

開催期間 : March 18-22, 2024

開催地 : Kyoto, Kyoto

URL: <https://www.solaresearch.org/events/lak/lak24/>

投稿締切: October 2, 2023

SITE 2024 (35th annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education)

開催期間 : March 25-29, 2024

開催地 : Las Vegas

URL: <https://site.aace.org/conf/>

投稿締切: November 3, 2023



会費納入のお願い

学会の運営は皆様の年会費で支えられております。今年度の年会費が未納の方はご入金をお願いいたします。なお、10月以降に年会費が未納の場合、学会誌の送付が一時休止されます。入金確認後、入金日の翌月末までに今年度内の未送付分も合わせて学会誌の送付を再開いたします。3月末までに入金を確認できない場合は、未送付分の学会誌はお送りできなくなりますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキユウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱UFJ銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口（secretariat@jsise.org）までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金を無料**にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。（2023 年 9 月 23 日～2023 年 11 月 30 日）

本学会での益々のご活躍を期待しております！

会員名	会員種別	会員名	会員種別
羽賀 美幸紀	正会員	西村 正迪	学生会員
岡本 英通	正会員	林 宏樹	正会員
小林 久也	学生会員	星野 拓望	学生会員
斉藤 幸一	正会員（購読）	福田 美誉	正会員
富永 大悟	正会員	三島 啓雄	正会員
相川 野々香	学生会員		

（計 11 名）